

設置マニュアル・取扱説明書

インジェクテッドフィルタリングパネル

PF.I 180



この説明書では、家庭用プール：インジェクテッドフィルタリングパネル PFI 180 の設置と使用に関する内容を記載しています。**この説明書の内容をよくお読みの上、必要なときにいつでも読めるよう安全な場所に保管しておいてください。**



この機器は以下の欧州整合規格を満たしています。

- ・ 欧州低電圧指令（2014/35/EU）
- ・ 電磁両立性に関する法律の整合化のための欧州議会、並びに欧州完了理事会（EMC）指令（2014/30/EU）
- ・ 特定有害物質使用制限（RoHS）指令（2011/65/EU）

整合性は EN IEC 60335-1、EN IEC 60335-2-41 及び IEC 60598-2-18 EN（現行版）に従って確認されています。

このろ過機はまた、家庭用プールのための欧州基準（NF EN 16582 および NF EN 16713）にも準拠しています。

電気設備に関しては資格を有する電気工事士によって、メーカーの指示に従い、また設置・使用する国の規格に従って行われなければなりません。

下記の推奨事項に沿って設置すれば、このろ過システムは電気規格（NF C15-100, HD 60364 及び IEC 60364（現行版））の要件を満たしています。



機器上にこのマークが表示されている場合は、この機器を一般廃棄物として投棄してはならない、また再利用のための分別収集の対象になることを意味します。EU の廃電気・電子製品に関する指令（WEEE）に従い、この製品は家庭ごみと一緒に廃棄すべきではなく、別に回収する必要があります。詳しくは地方自治体もしくは販売店へお問い合わせください。

安全の手引きと警告

ディスチャージパイプにつなげてマッサージホースを使用する際は、水面上に出ている人へ向けられないよう注意してください。目を傷つける危険があります。

バルブの位置やポンプのタイプを変更すると流量が変化し、吸引速度が増すことがあります。

ポンプやろ過システムに疑問がある場合には、設置者へお問い合わせください。

本製品は、ご使用前に本取扱説明書をよく読んで使用方法および発生しうる危険を理解し、本製品の操作について十分な能力のある者が使用することを前提としております。責任者による監視また指導のない状態での子供または病人による機器の使用はしないでください。子供は機器で遊んではいけません。クリーニングおよびメンテナンスに関しても、適切な監督なく子供だけで行わないでください。

フランス製

内容

1	インジェクテッドフィルタリングパネル PF.I 180 (ろ過機)	3
2	インジェクテッドフィルタリングパネル PF.I 180 の概要説明	4
3	インジェクテッドフィルタリングパネル PF.I 180 の技術特性	5
4	ろ過機本体	5
5	重要事項	6
6	組み立てに必要な道具	7
7	取り付け方法	8
	7-1. PF.I 180 の取り付け	8
	7-2. ポンプ室の支え	9
	7-3. 排水管 (ドレン) 接続	9
	7-4. プールのコンクリート打設作業	10
	7-5. プールサイドの打設	11
	7-6. ライナーの設置	11
	7.7- PF.I 180 の作動確認	13
8	詳細図	14
	8.1- PF.I 180 標準バージョン	14
	8.2- PF.I 180 バイパスオプション	14
9	一般的な電気工事	15
	9.1- 電気接続	15
	9.2- 電気ケーブルの埋設	15
	9.3- 注記	15
	9.4- 接続配線図	16
10	スポットライトのバルブ交換	17
11	ろ過機アクセサリの取り付け	18
12	分解図	19

1 インジェクテッドフィルタリングパネル PF.I 180 (ろ過機)

標準タイプ

このろ過システムには複数のタイプがあります。

- P18 ポンプ付き PF.I 180 P18 CE タイプ
シングルスピード、消費電力：450W (50 または 60Hz)
スポットライトを含む総電力：595W
- P25 ポンプ付き PF.I 180 P25 CE タイプ
シングルスピード、消費電力：1205W (50 または 60Hz)
スポットライトを含む総電力：1426W
- PBI ポンプ付き PF.I 180 PBI CE タイプ
デュアルスピード、モーター：低速電力：370W / 高速電力：2100W
スポットライトを含む総電力：2410W

オプション

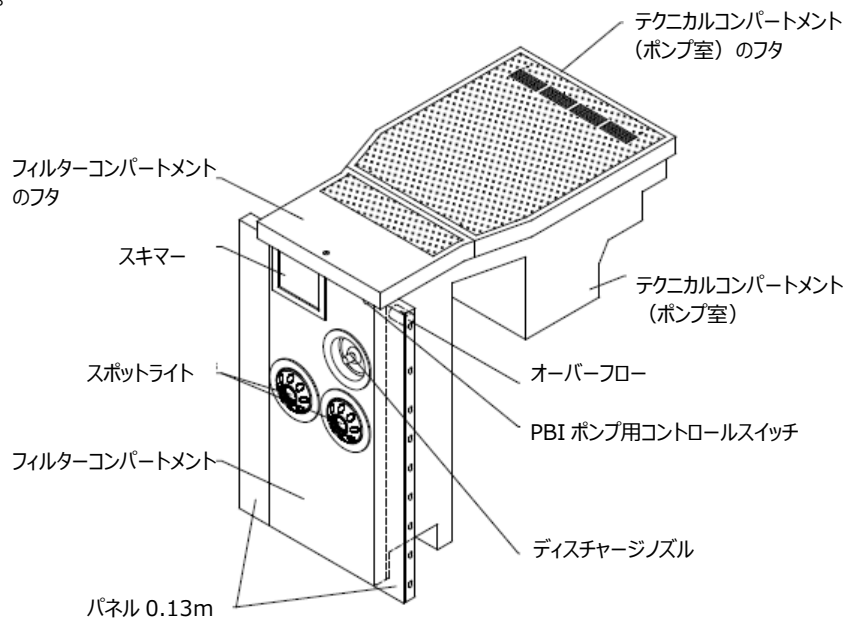
標準タイプにはオプションのパイプを使って、以下の装置を取り付けることができます：

- **エレクトリックヒーター**
- バイパスを使用した昇温装置（ヒートポンプタイプ）
- **塩電解装置（JD SEL）**

インジェクテッドフィルタリングパネルの構造

インジェクテッドフィルタリングパネルに含まれるのは、

- 「フィルタレーションコンパートメント」：スポットライト、スキマー、ディスチャージノズルを装備。ここにはろ過関連部品と接続パイプが収容されています。
- 「テクニカルコンパートメント（ポンプ室）」：フィルタレーションコンパートメントからのポンプとパイプが格納されており、デッキ端のハウジングに挿入されています。



2 インジェクテッドフィルタリングパネル PF.I 180 の概要説明

デジョユールのフィルタレーションシステムには従来のシステムの機能がすべて含まれています。

効率がよく、またメンテナンスが容易なので、ご満足いただけます。

➤ 動作原理

フィルタリングパネルの正面のスキマーの穴を通して、ポンプが水を吸い上げます。水はただちにフィルターバッグ（6 または 15 ミクロン）を通ってろ過されます。さらに水はポンプの力でプールに戻っていきます。

➤ インジェクテッド・ろ過機パネル PF.I 180 の特長：

- すぐに取り付けられ、簡単に使用でき、安全かつ経済的
- あらゆるタイプのプールに適合
- 高いろ過能力
- 表面水のインテーク
- 耐食性材料
- 損失水頭がほとんどない

- プールの水が回転するので、水が表面部分と底部分の差なく全体が混ざる
- 組み込み式のスポットライト
- 水吸い込みによるゆったりとしたろ過機
- アフターサービスにかかる頻度が少なく済む
- 優れたフィルタリング性能（6 または 15 ミクロン）
- フィルターバッグの掃除は非常に簡単で、水ジェット、または洗たく機で洗える

3 インジェクテッドフィルタリングパネル PFI 180 の技術特性

ろ過機 PFI 180 には取り付けと取り扱いを最適化するために考案された特長が備わっています。

➤ テクニカルコンパートメント（ポンプ室）の密閉

配管の穴は水を通さないように処理されているため、ポンプ室はプールから完全に切り離された空間になっています。

注意：ただしこれはポンプ室のフタは付属の M8 ねじ×4 本でしっかりと閉じていることが条件となります。

注意：ウォーターラインがパイプを超える場合があります。このためろ過機のポンプには常に負荷がかかっています。

パイプをポンプから取り外す時は、その前に必ず外すパイプのバルブ 2 つを閉じておいてください。吸入管（サクションパイプ）はポンプ室に、吐出管はフィルトレーションコンパートメントの中にあります。

➤ 基礎工事

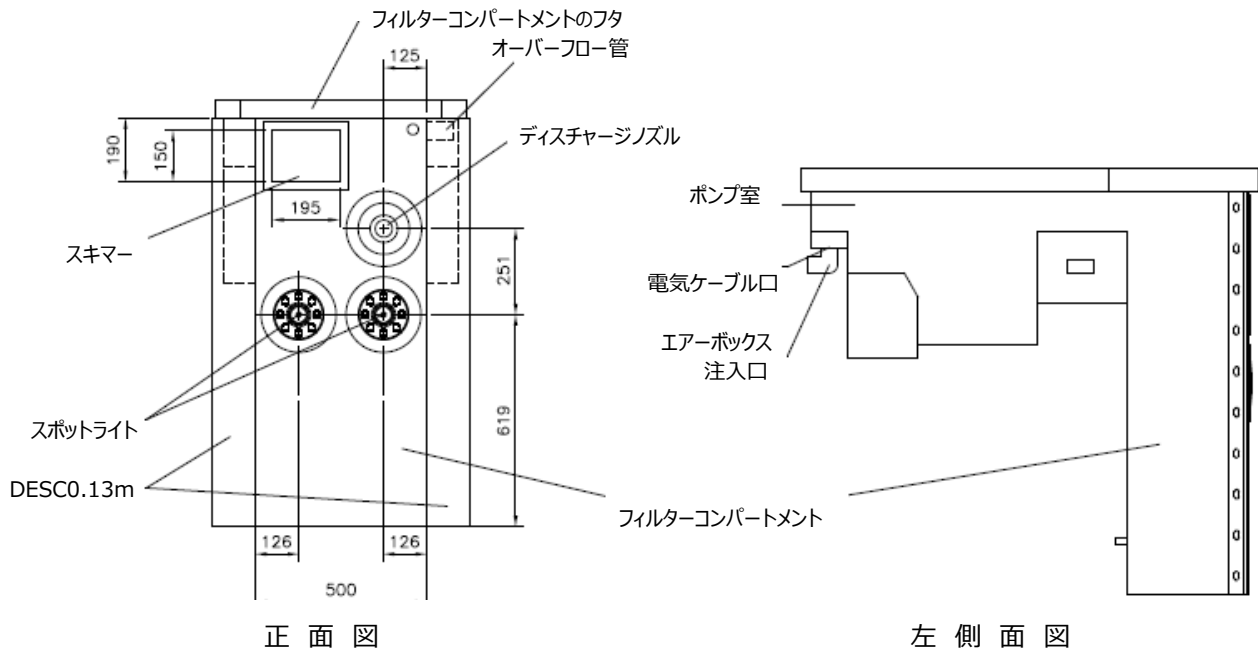
本説明書をよく読み、それに従ってください。

➤ DESCO パネルとの連結（面を合わせる）

ろ過機の正面パネルには両側に 0.13m の DESCO パネルを組み合わせます。M8 ボルトを使用して組み立て時には、1m のデスコパネルと付属の M8 ボルトを使って、DESCO パネルをテクニカルコンパートメント側に取り付けてください。（別紙「DESCO0.13m パネルの取り付け」資料を参照してください）

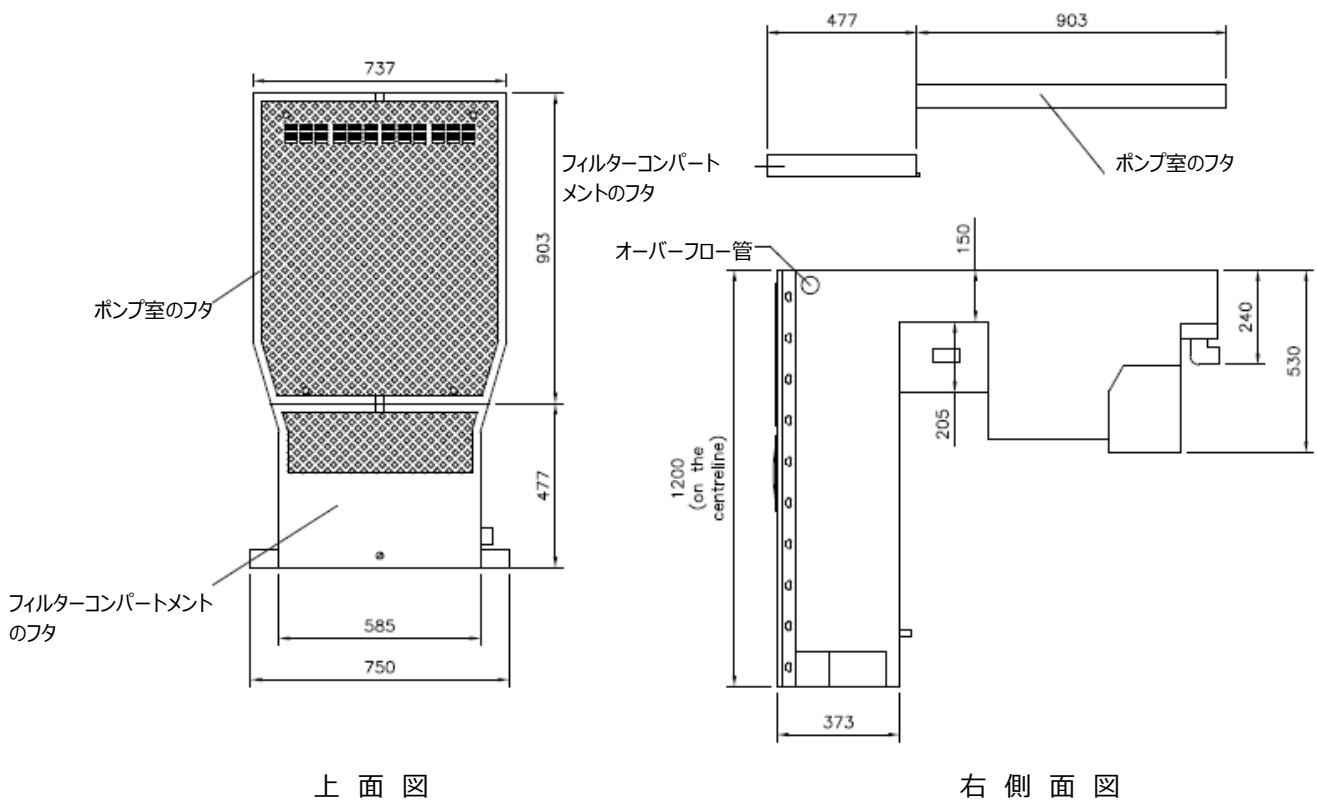
4 ろ過機本体

（フィルターコンパートメントのチムニーを除く）



正面図

左側面図



上面図

右側面図

5 重要事項

➤ DESCO パネルとの連結

ろ過機 PF.I 180 をデスコパネルと連結させる際には、フィルターパネルのライナーロックが、隣あうデスコパネルの側面と一直線に並んでいることを確認してください。

➤ フィルターコンパートメントのティンバースペーサー

フィルターコンパートメント内のティンバースペーサーは、プールのコンクリート工事をすべて終えてから外してください。

➤ 配水管接続

排水管が正しく接続されていることを確認してください。

- ・ フロントパネルの右側にあるオーバーフローよりも高い位置にならないよう注意してください。このオーバーフローは溢出を防ぐように設計されています。
- ・ 正面右側のオーバーフローよりも高い位置にならないように注意してください。

警告 : このパイプはそれぞれ別々に排水溝（下水管）に接続させてください。

オーバーフローの排水とトレーからの排水は適正な排水管（雨水排水管や下水管）に流れるよう設置してください。お住いの地域の水道局の定めるルールに従ってください。

➤ プールへの給水

プールに給水する際には、スポットライトの位置までは少しずつ水を入れてください。ろ過機正面が歪まないようにパネルとプール内の水位とのバランスをみてください。

➤ スポットライト

スポットライトは、ライトが完全に水中に浸かっている時（水位がスポットライトを越えている時）のみ点灯が可能です。

スポットライトの清掃にはアルコールや溶剤は絶対に使用せず、中性洗剤のみを使用してください。

設置前に増し締めすることをおすすめします。

➤ テクニカルコンパートメント（ポンプ室）のカバー

テクニカルコンパートメントのカバーは常に 4 本の M8×60 のネジで固定してください。

➤ バイパスの取り付け

バイパスの取り付けが必要な場合には、インジェクテッドフィルタリングパネル専用の配管を使用してください。

バイパス用の穴があげてあるのでポンプ室は防水となっています。テクニカルコンパートメント内の配線回路は全て専用のアダプタを使用してください。

さらに将来昇温機を設置する場合に備えて、プールの建設段階でバイパス接続用のパイプを取り付けておくことを強くお勧めします。

➤ パイプの埋設

埋設したパイプは（バイパスにつなげている時は特に）、施工中にダメージを受けていないかどうかを確認するために埋め戻しの前後に耐圧試験を行わなければなりません。（NF EN 16 713-2）

➤ フィルトレーションコンパートメントカバーのロックシステム

メンテナンスをしやすいするために、フィルトレーションコンパートメントカバーのロックをマイナスドライバーで閉じておくことをお勧めします。

➤ フィルターバッグ

必ずデジョユ製のフィルターバッグをご使用ください。

6 組み立てに必要な道具

ご自分で用意いただくもの：プラスドライバー、マイナスドライバー、建築用定規、水準器、可動レンチ、セメント、砂、丈夫な軽量コンクリートブロック、電気ケーブル用の電線管 PF22、（溶接済みの場合のみ）ライナー設置のための吸塵機、デジョユ製ケーブルマルチ、ソケットレンチ 19mm、六角レンチ 5mm

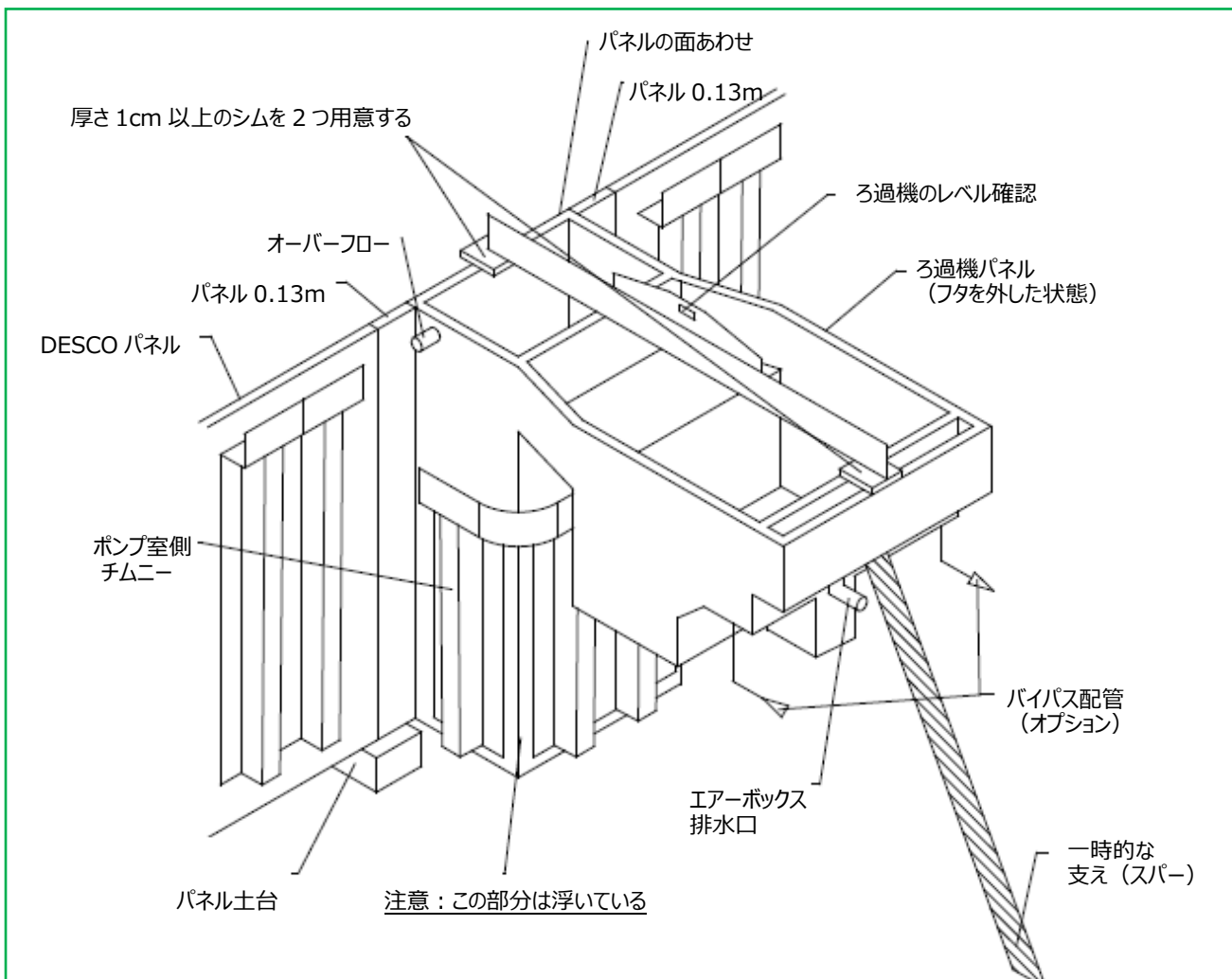
7 取り付け方法

以下、ろ過機 PF.I 181 の取り付け手順を説明します。この説明書をよく読み、内容を理解してから作業を始めてください。
また、ここで示されている寸法は必ず守ってください。

7-1. PF.I 180 の取り付け

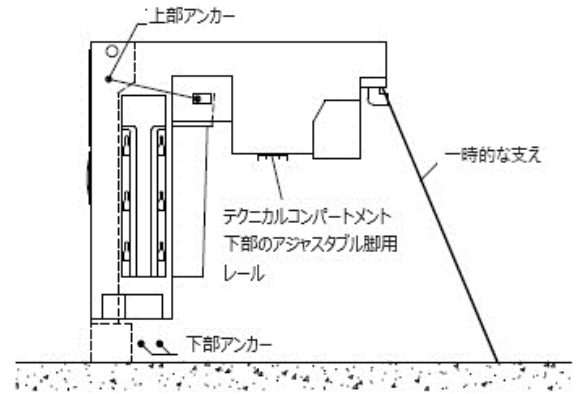
- ・ フィルターパネルを取り付ける前に、フィルターコンパートメントおよびテクニカルコンパートメントのカバーを外し、それぞれのコンパートメントに入っているアクセサリ類（リング、バッグ、ボウルなど）は全て取り出しておいてください
- ・ プール工事中は、付属の M8 ボルトを使用してフィルターパネルを DESCO パネルに固定します。
注意：フィルターパネルは吊り下げられているため、挟まれないようにしてください。
- ・ ろ過機正面、両脇のパネルと DESCO パネルの面がそろっていることを確認してください。
- ・ ろ過機のパネルの上部（フタを外した状態）がポンプ室の前面から背面まできちんとレベルがあっているか確認してください。このフィルターパネルがずれないように一時的にスパー（円柱材）で支えてください。これはコンクリート打設するまで置いておいてください。

厚さ 1cm 以上あるシムを 2 枚用意し、中央リブを避けてフレームに置き、その上にアルミの定規をおいてください。

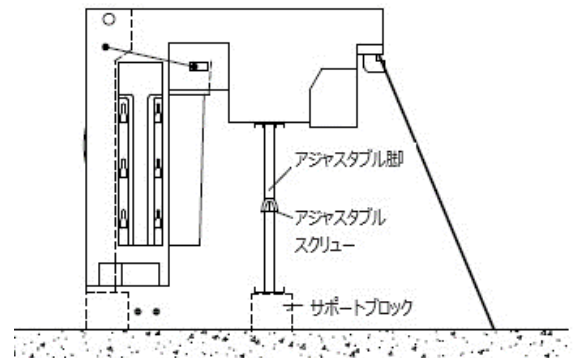


7-2. ポンプ室の支え

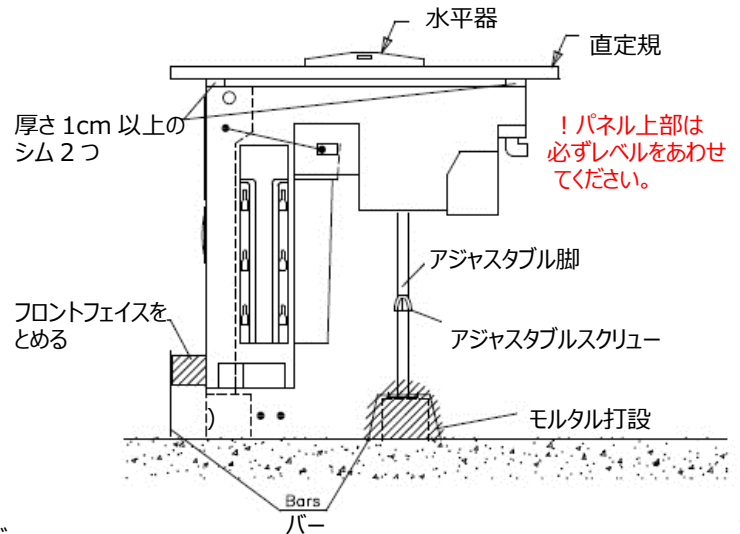
- 上部および下部両方のアンカーを固定します。下のアンカーはフィルターコンパートメントの下を通し、上部のアンカーは、1本はフィルターコンパートメントの周り、もう1本はフィルターコンパートメントとテクニカルコンパートメント（ポンプ室）の間の穴に通します。



- テクニカルコンパートメント（ポンプ室）の支柱を作ります。2本のアジャスタブル支柱（脚）を2本とも長方形の台座に乗せ、付属のM8ボルトとナットで固定します。
- 付属のアジャスタブル支柱をポンプ室底面のレールに入れ、同じく付属のM8ボルトで固定します。支柱は2本とも同じように固定させます。
- 支柱の下には必ずサポートブロックを設置してください。
- アジャスタブル支柱は長さの調整ができるスクリーがついています。



- ろ過機後方に一時的に設置した支えは取り外してください。
- ベアリングの足をバー（8mm、Φ0.6lm）で強くたたきます。
- モルタルでサポートブロックを固定させてください。（この作業はストラットに打設するときに行ってください。）
- 再度、パネル上部が水平になっているかを確認し、必要に応じて脚の長さを調整してください。



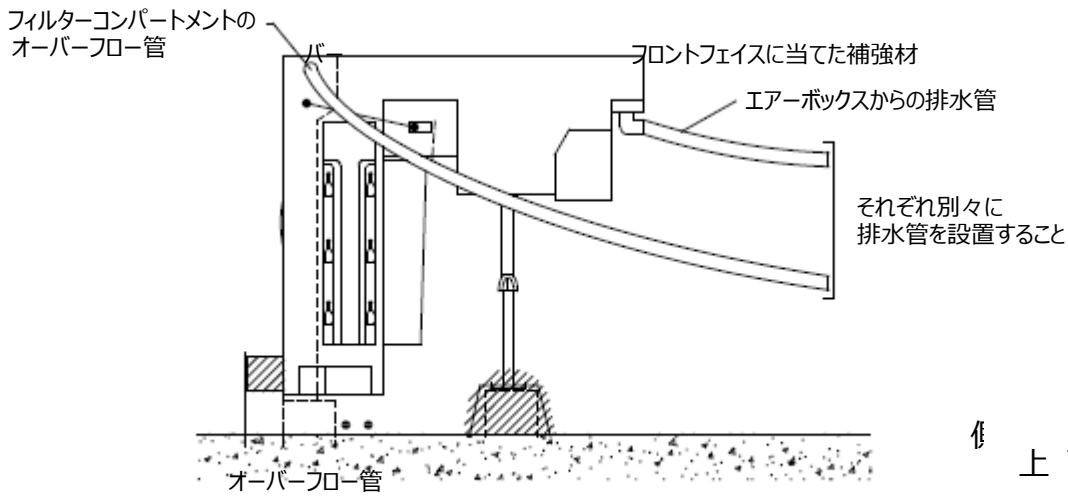
レベルの確認にはアルミ製の定規を使用してください。ろ過機のフレームが干渉しないように厚さ1cm以上のシムを用意し、厳密にチェックします。

- 打設中にパネルが動いてしまわないように、必要に応じてスパーや補強材を使って正面底部分を固定させてください。

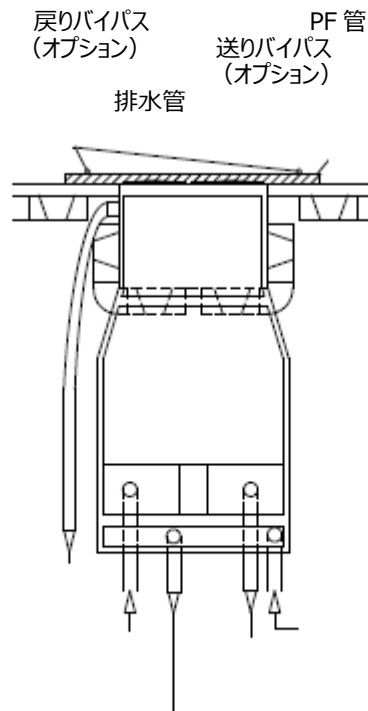
7-3. 排水管（ドレン）接続

- フィルターコンパートメントのオーバーフロー管と、（テクニカルコンパートメント内の）エレクトリックトレーからの排水管にはそれぞれ別のパイプをつなげてください。VU40のパイプを使用し、少なくとも1cm/mの傾斜（水平1mに対して垂直1cm＝傾斜1%）をつけて、排水管がオーバーフローよりも高い位置にならないようにしてください。
- オプションのバイパスを接続するとき（ヒートポンプ設置時）にはVU40を使用してください。
- エアーボックスにケーブルを引き込むためのPF管を取り付けてください。PF管はエアーボックス内に50mm以上はみ出るように入れ込みます。 ※添付のアダプタを使用してください。
- エアーコンパートメントからの排水管とオーバーフロー管は、適切な排水路（雨水桝もしくは下水管など）に流れ込むように設置してください。詳細は地域を管轄する水道局の定めるルールに従ってください。

※インフィニティプールの場合、オーバーフロー管は不要です。

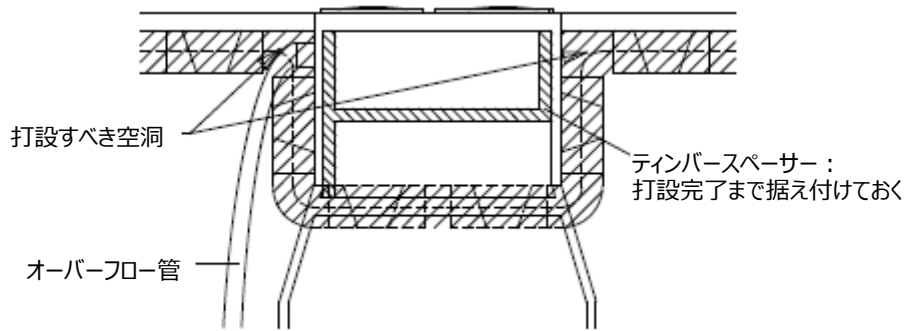


作 上面図



7-4. プールのコンクリート打設作業

- ・ プールにコンクリートを打つ前に必ずフィルタレーションコンパートメントおよびテクニカルコンパートメントのカバーを養生してください。
- 注意！フィルターコンパートメント内部のティンバースペースはプールサイドが仕上がるまで外さないでください！
- ・ コンクリート打設をします。
 - ✓ 下部アンカー部分、底面、フィルターコンパートメント脇のチムニーにもしっかりとコンクリートを流し込みます。
 - ✓ プールサイドのスラブ部分
 - ✓ チムニーと上部アンカー部分、フィルターコンパートメントのチムニーも忘れずに。漏れないように注意すること。
- ・ 空間部分、特にパネルとフィルタレーションコンパートメントすぐ脇のチムニーの間隙も忘れずに打設してください。
- ・ ティンバースペースは打設が完了するまでは外さないでください。
- ・ ろ過機正面の補強材は打設が完了したら外してください。外したのちにプール内の床面を打設します。
- ・



上面図

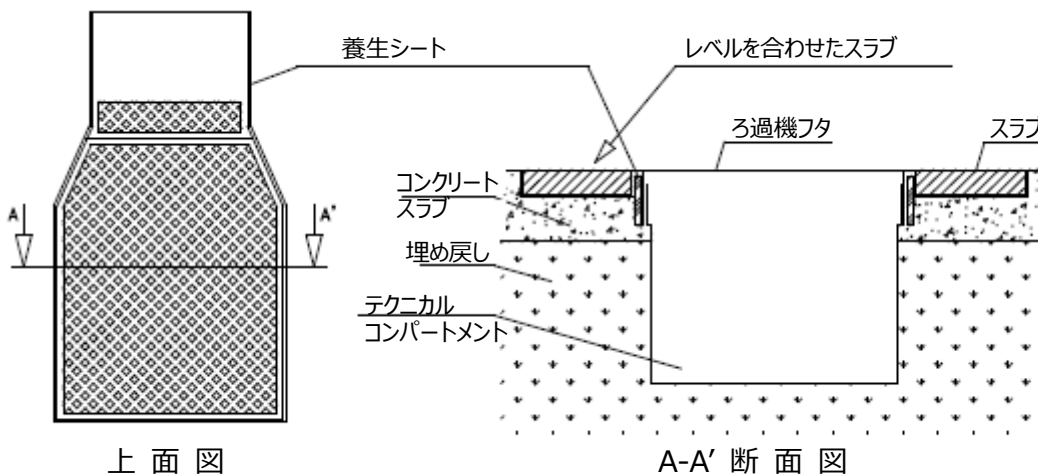
メモ：オーバーフロー管の前部分にも打設すること。

7-5. プールサイドの打設

- プールを埋め戻します。
- フィルターコンパートメントとテクニカルコンパートメントのフタをしっかりと閉じます。
- フィルターコンパートメントとテクニカルコンパートメントのフタ外側を（開閉のできるスペースは確保したうえで）厚手のビニールなどでしっかりと保護をします。
- テクニカルコンパートメントのフタを付属のスクルーM8×4 本で留めます。
- ろ過機周りを打設してください。

注意：

- ✓ プールサイドのコンクリートスラブの上辺部は、このスラブ上のタイルがテクニカルコンパートメントのカバー上面と同じ高さになるようにしてください。
- ✓ 雨水、プールからあふれた水などがきちんと排水されるよう、コーピングとスラブはフィルターコンパートメントおよびテクニカルコンパートメントのフタと傾き具合をそろえてください。（1cm/m の傾斜）
- ろ過機周りが仕上がったら、フタに貼った養生シートをはがしてください。



上面図

A-A' 断面図

7-6. ライナーの設置

準備：

取り付け前に、必ず以下の作業を行ってください。

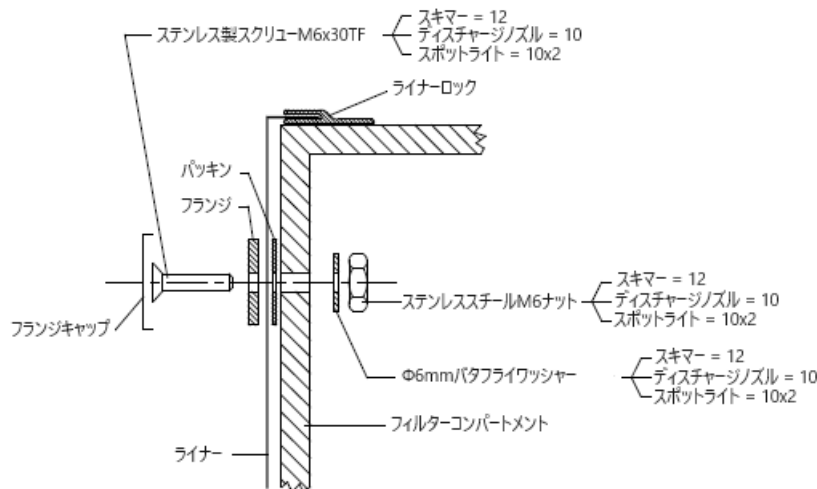
- フィルターコンパートメントからティンバースペースターを取り外します。
- **FILTER HOLDER** を取りだします。
- エアボタンを回し外します。Φ3mm の透明のチューブもエアボタンから外してください。
- フィルターコンパートメント内のオーバーフロー管の開口を養生テープで閉じてください。その際、2 本のバルブがいずれも締まってい

ることを確認してください。

- ・ フィルトレーションコンパートメントフタを閉じてテープで養生し、中に空気が入らないようにしてください。
- ・ スキマー、ディスチャージおよびスポットライトのパッキンを、ろ過機の穴に合わせて貼り付けます。パッキンの穴がきちんと合っていないと水漏れの原因となりますので注意してください。
- ・ ライナーを取り付ける前に、下記の場所が汚れていないか確認します。
 - ✓ ろ過機パネルの正面
 - ✓ プールの内側全体（壁と底面）

パネル正面へのライナーの取り付け：

- ・ パネルのライナーロックにライナーをひっかけてください。
- ・ 集塵機を使ってライナーをプール壁面にぴったりと張りつけてください。しわがよらないようにしっかりと伸ばします。
- ・ スポットライトの位置から 20cm 下まで水をはります。
- ・ まずはスキマーフランジを取り付けます。長方形のフランジを該当部分に取り付けてください。
- ・ ライナーを貫くようにフランジ用ネジをすべて留めます。（12 本×M6x30 TF スクリュー）
- ・ フィルターコンパートメント内にワッシャーとナットを取り付けるため、カッターでフランジ内側にスロットを作ってください。フランジを完全に取り付けしてからフランジ内側のライナーをふちに沿って切り取ってください。
注意：忘れずにスキマーシャッターを取り付けてください。（フランジ下部のスクリュー 2 本です）
- ・ 次にディスチャージノズルとライトのフランジを順番に固定させます。



- ・ カッターでフランジ内部のライナーを慎重に切ってください。
- ・ スキマーフランジ、ノズルフランジ、スポットライトフランジにフランジカバーを取り付けてください。
- ・ PBI ポンプを使用する場合は、パネルの穴の場所に合わせて小さな穴をあけてください。
- ・ エアボタンを裏からナットで留めて、透明なチューブを差し込みます。

ライナーの取り付け（仕上げ作業）

- ・ 集塵機を止め、ライナーをライナーロックに留めます。
- ・ スポットライトとライトのケーブルを取り付けます。右側のライトのケーブルはフィルターコンパートメントの右隅（スパーサーの横）から、左側のライトのケーブルは左隅（インテークパイプの横）に配置してください。
- ・ 付属のケーブルグランドを使って、ポンプ室（テクニカルコンパートメント）内にケーブルを通してください。
- ・ 電気設備の取り付け時にライトのケーブルを変圧器に接続させます。必ず電気技術の有資格者が行ってください。
- ・ プールに給水します。2 か所のインテークバルブと排水バルブがしっかりと閉じていることを確認してください。

7.7- PFI 180 の作動確認

ろ過機設置後およびシーズンの始めにはろ過機の作動確認を行ってください。

作動前

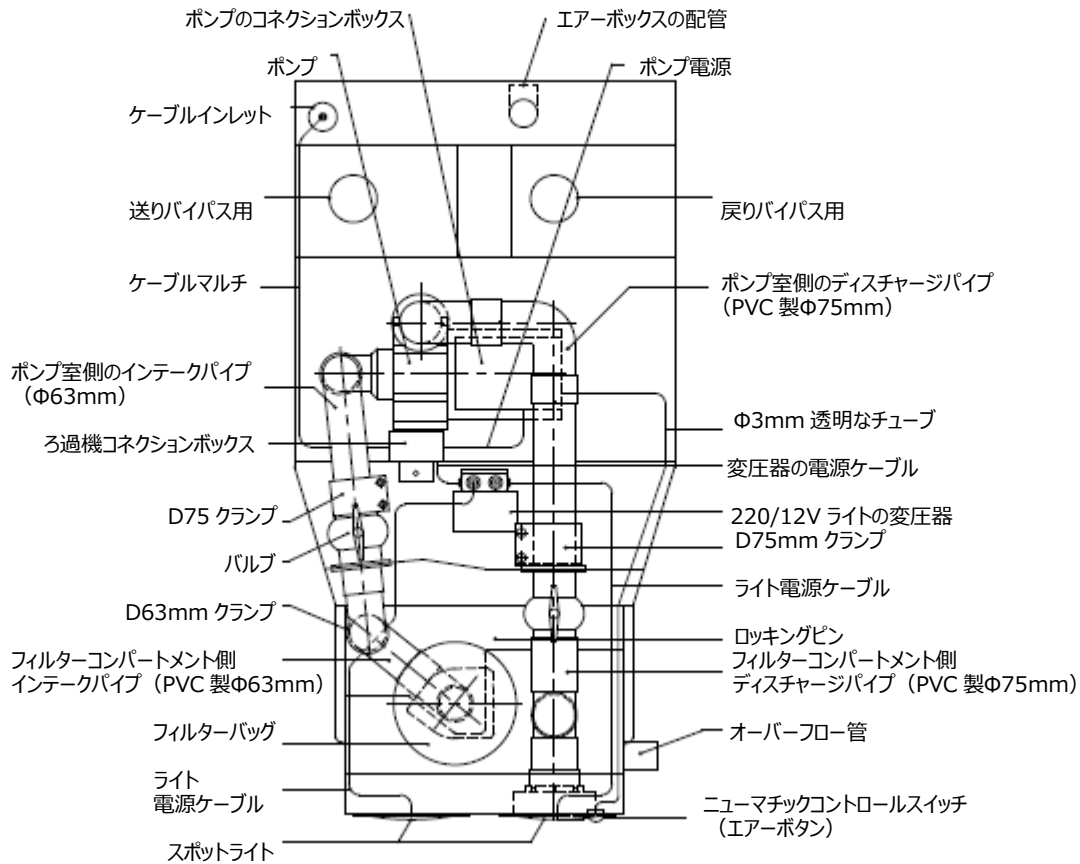
- ・ インテークバルブおよびディスチャージノズルがきちんと閉じられていることを確認します。
- ・ スキマー上部 2/3 の水位まで水を入れます。（スキマーの上端から 2~5cm のあたりです）
- ・ ポンプを取り付ける前に、ポンプ本体のボディ部分から手で中のタービンを回してください。（19mm のソケットレンチでも可）
- ・ ポンプをポンプ室に設置します。
- ・ PBI ポンプを取り付ける場合には、付属の小さなケーブルグランドを使って専用の透明なチューブ（キャップを外しておく）をエアボタンにつなげてください。PBI ポンプ以外の場合にはエアボタンは使用しないのでそのままにしておきます。
- ・ 配管を接続させます。
- ・ **? Φ75mm クランプを使ってディスチャージパイプをつなげてください。**
- ・ ! 忘れずにポンプに呼び水をしてください。
- ・ 電気配線工事を行います。必ず電気技師に頼んでください。（「電気接続」に関する頁をご覧ください。）

ろ過機の操作

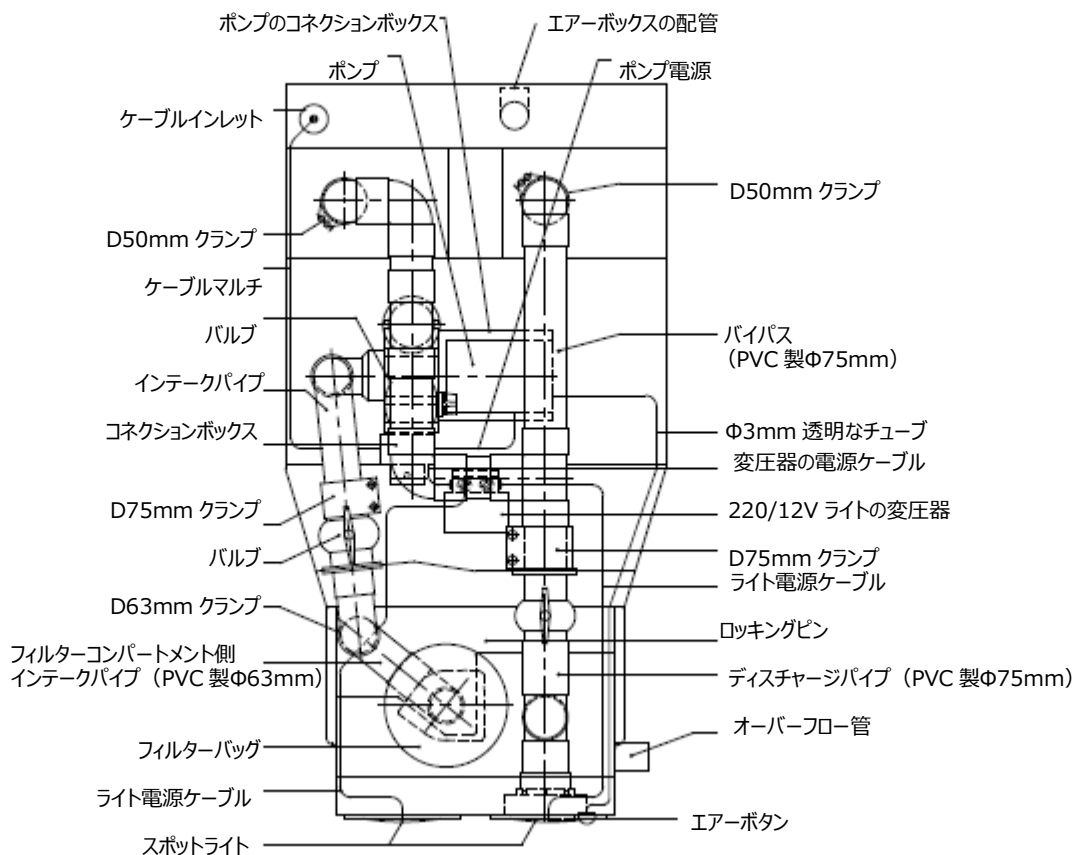
- ・ インテークバルブとディスチャージバルブを開けてください。
- ・ フィルターコンパートメント内、黒いボウルとフィルターバッグを順に取り付けてください。（「アクセサリの取り付け」の頁を参照してください。）
 - ✓ ボウルはプレート上にきちんと赤いピンで固定されているか確認してください。
- ・ （コントロールパネルの）スイッチを「MANU（手動）」になっていることを確認し、2~3 日間ろ過機を動かしてください。
- ・ 注意：テクニカルコンパートメントのフタを閉じる前に、内部の配管から水漏れがないかチェックをしてください。
- ・ 2~3 日間ろ過をした後、コントロールパネルのタイマーでろ過時間の設定を行います。
- ・ スwitchを「AUTO（自動）」にすると、上記で設定した時間でろ過機が稼働します。ろ過時間の調整と水質管理方法の詳細に関しては、ユーザーマニュアルをご覧ください。

8 詳細図

8.1- PF.I 180 標準バージョン



8.2- PF.I 180 バイパスオプション



9 一般的な電気工事

9.1- 電気接続

電気接続は、設置場所の国の規則、規格に従って資格を有した電気技術者が行ってください。

下記の推奨事項に沿って設置すれば、このろ過システムは電気規格（NF C15-100, HD 60364 及び IEC 60364（現行版））の要件を満たしています。

- ・ 密閉したエレクトリックボックスは規制安全地帯の外側、つまりスイミングプールの全ポイントから 3.5m 以上離れた場所に取り付けてください。
- ・ コネクションボックス内の接続はすべてしっかり締めておいてください。
- ・ ブレーカー 16A の電気回路は、ろ過機のエレクトリックボックス（漏電ブレーカーより上部）の電源ケーブルの頭部に直列に取り付けてください。
- ・ 電気接続については後述の電気回路図を参照してください。

9.2- 電気ケーブルの埋設

- ・ 小道や歩道の下を通るケーブルは、少なくとも 0.85m の深さに埋めてください。
- ・ それ以外の場合でも、少なくとも 0.5m の深さに埋めてください。

9.3- 注記

- ・ 電気部品（ポンプ、変圧器）が設置されているテクニカルコンパートメントのカバーは専用ネジで閉じておいてください。
- ・ テクニカルコンパートメントのメンテナンスまたは修理の前に、装置の主電源は切断しておいてください。
- ・ ポンプの電源は単相です。
- ・ （ポンプ P18 を使用している場合は、6 番の黒ケーブルは使用しないためそのままコネクションボックス内のコネクター（メス側）につなげておいてください。）
- ・ 電源は地面にアースされていなければなりません。

重要注記：

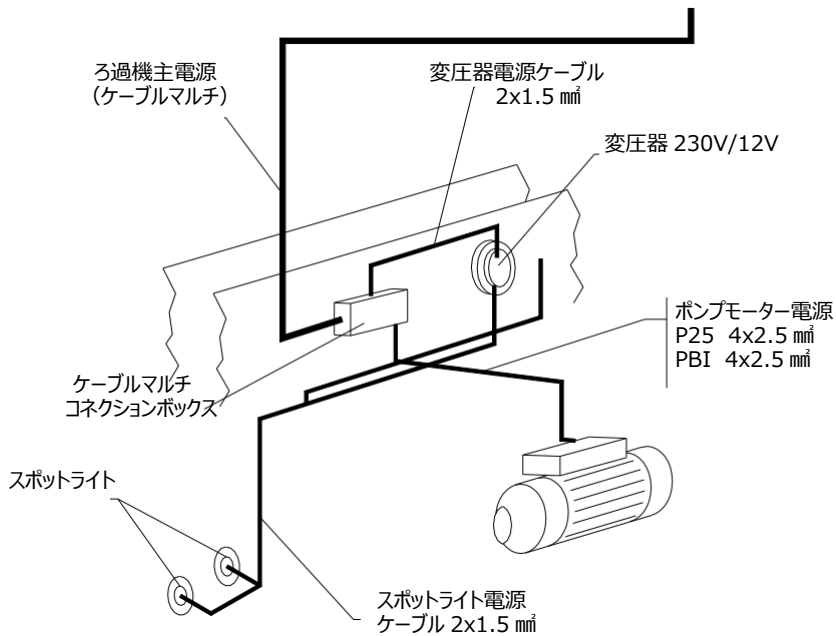
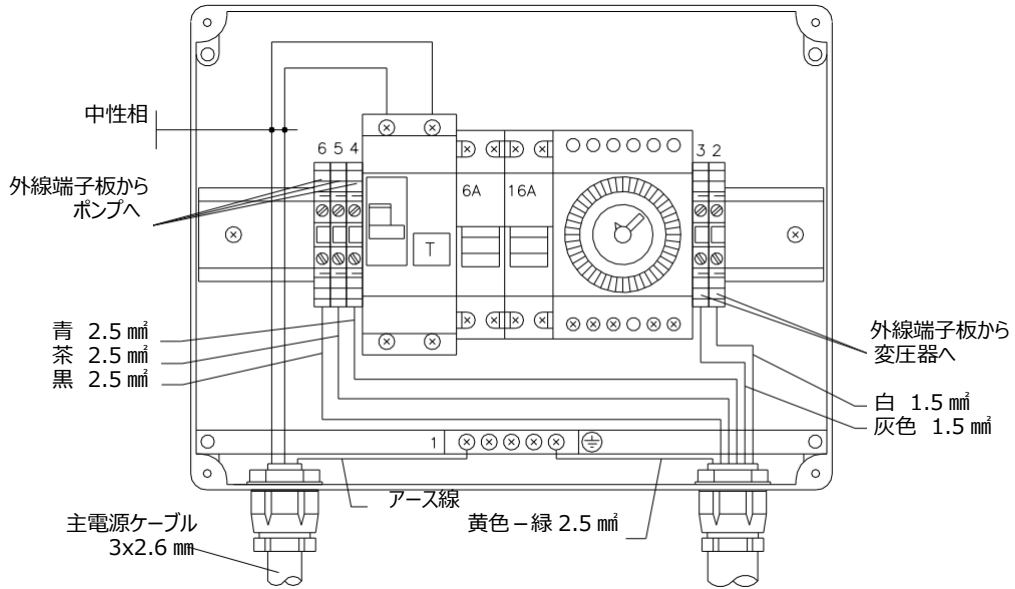
少なくとも月に一度は 30mA 漏電ブレーカーの定期点検を行ってください。

- ・ フィルタレーションエレクトリックコントロールパネル内
- ・ ヒートポンプなど（使用している場合）

テストボタンを押すと漏電ブレーカーが落ちます。

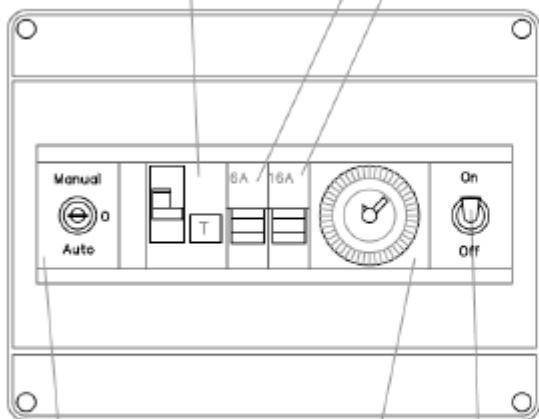
- ・ このテストは、主電源をオンにして行ってください。
- ・ 漏電ブレーカーが落ちない場合には、電源をオフにし、資格を有した技術者を呼んで修理を依頼してください。

9.4- 接続配線図



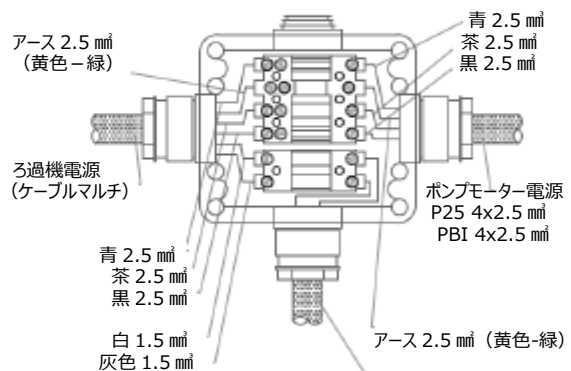
フィルタレーションエレクトリックコントロールパネル

差動スイッチ (漏電ブレーカー)
 30mA 変圧器ブレーカー ポンプブレーカー



ろ過機スイッチ 時計 照明スイッチ

コネクションボックス



変圧器電源 2x0.7 mm²

10 スポットライトのバルブ交換

取り付けられるのは、デジョユ製スポットライト 6W に合うバルブのみです。

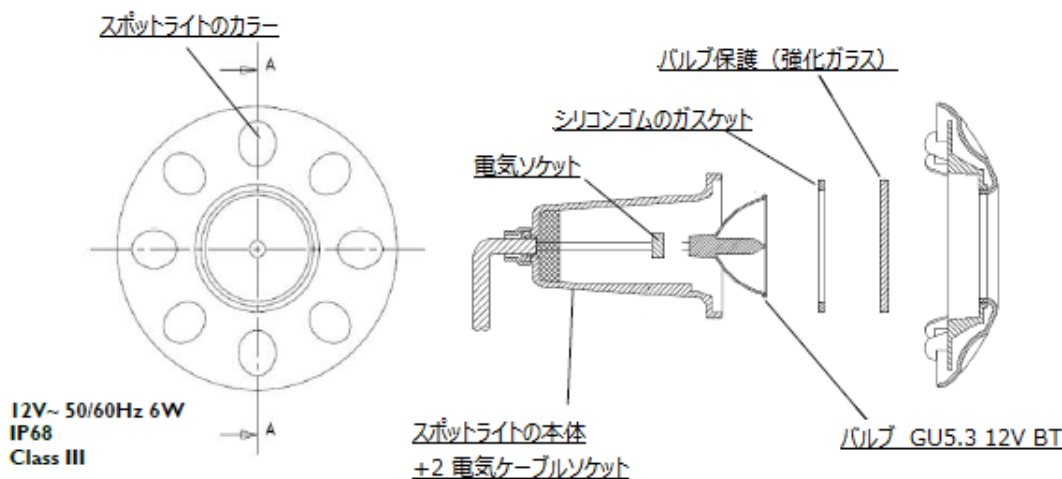
1. 主電源をオフにしてください。
2. 変圧器から電気パネルへの電力を切断してください。
3. 機械室内のケーブルをゆるめ、フィルタレーションコンパートメント内の電源ケーブルを引いてください。
4. スポットライトを 4 分の 1 ほど回転させてフィルタレーションコンパートメントから取り外し、取り付けブラケットを外してください。
5. 電源ケーブルと一緒にスポットライトを外してください。
6. カラーと中間体アセンブリ (intermediate piece assembly) を外して本体を分解してください。
7. ガラス窓を外してください。その際、ガスケットをなくさないように注意してください。
8. ランプを外してください。
9. 電気ソケットをランプの土台に、正しく、慎重に挿入しながら、新しいランプを取り付けてください。
10. ガスケットがきちんと正しい位置にあり、歪んでいないか確認してからガラスを交換してください。
11. 本体のカラーと中間体アセンブリを締めてください。締めながら、ガラスがそのハウジングの底の中心からずれていないことを確認してください。ガスケットがわずかに平らになるように締めてください。
12. 電源ケーブルをフィルターコンパートメント内に入れ戻し、スポットライトを取り付けてください。
13. 付属のケーブルグラウンドを使って、テクニカルコンパートメントの中に電源ケーブルを入れてください。
14. 変圧器内のスポットライトの電源をつなげてください。
15. ケーブルをしっかりと締めてください。
16. 交換後初めて点灯させるときには、気泡が出ないか確認をしてください。気泡が出る場合は浸水しています。気泡が見つかったら、スポットライトを再度外し、ガスケットとガラスの状態を確認してください。

注記：スポットライトの掃除にはアルコールや溶剤は使用せず、中性洗剤のみを使用してください。

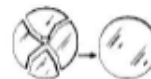
スポットライトは水に浸かっている場合にのみ点灯させてください。

陸上で使うように設計されていません。

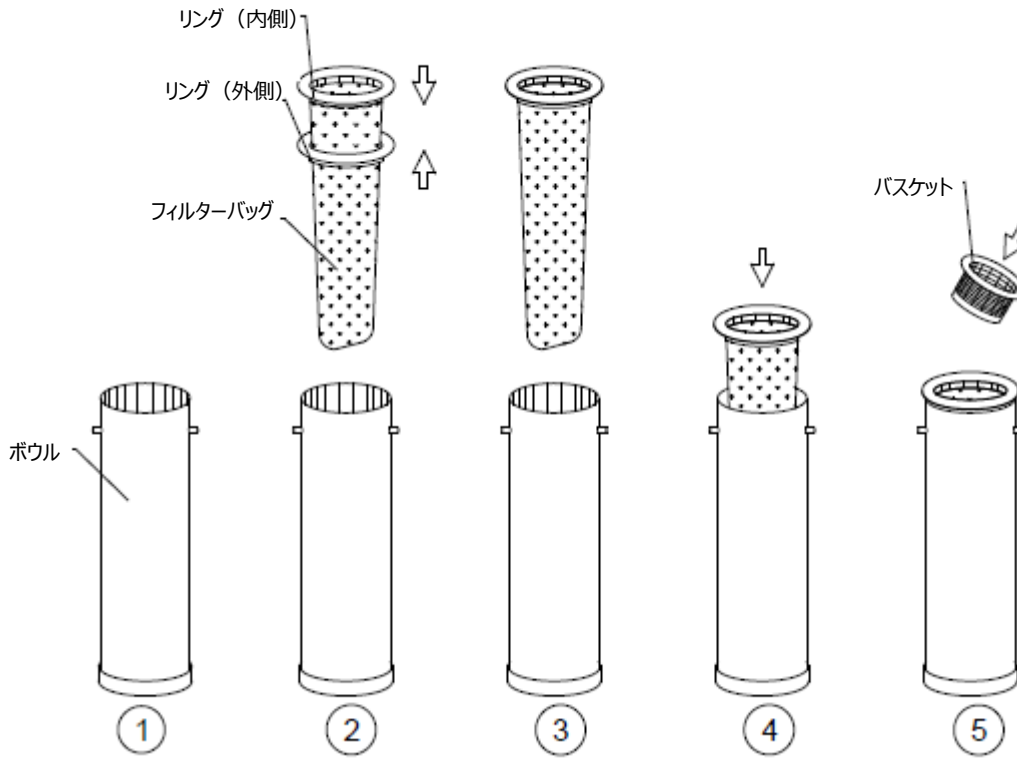
安全確認の取れている、IEC EN 60335-1 と EN60598-2-18 に適した変圧器を使用してください。



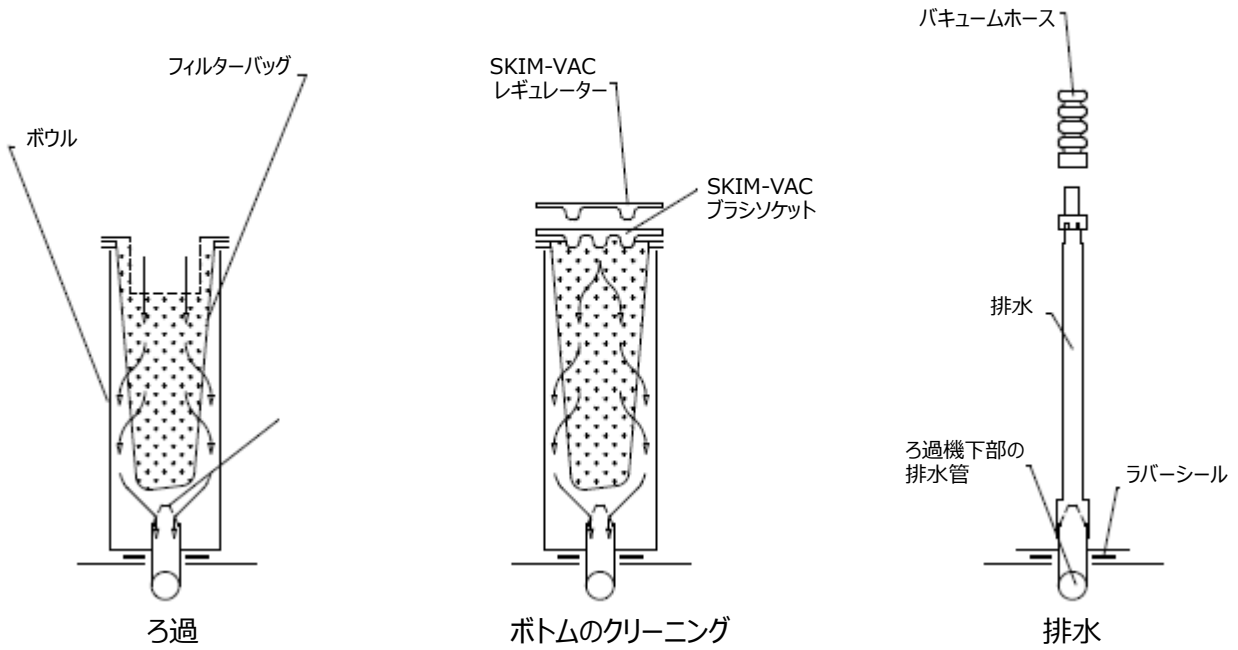
Made in France



11 ろ過機アクセサリの取り付け

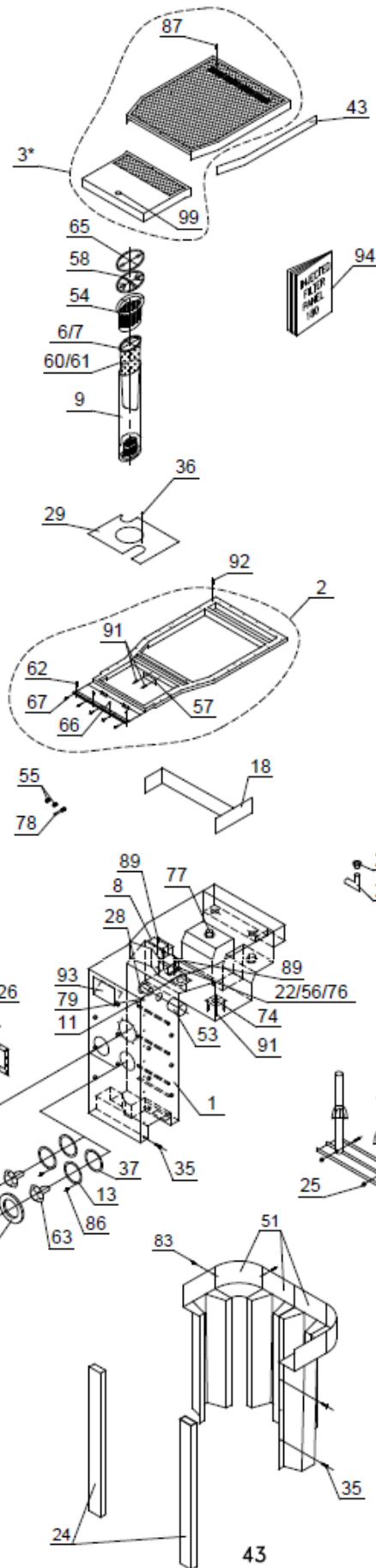


設置



仕組み

12 分解図



*: Standard colour: beige or grey.
 For optional colours, please contact your customer representative.

Please note: when you order item number 2 "Frame PF.I 180 pre-eq", you will also receive a filtration compartment cover and a technical compartment cover (item number 3).

